

(学校運営協議会・報告様式)

令和7年度 第5回 庄内小学校 学校運営協議会 実施報告書

1 日時

令和8年 1月 13日 (火) 19:00 ~ 20:30

2 場所

庄内小学校図書室

3 あいさつ

(学校長) 転入生 2 人で全校 80 人となる。3 学期もよろしくお願いします。

(委員長) 本日は学校自己評価として、皆さんのいろいろな意見をいただきたい。

4 協議

●学校関係者評価について

評価項目: 学力向上×ICT 活用 長期欠席対策 地域連携 非認知能力育成 健全な体
と心の育成 働き方改革 それぞれについて学校長から原案を説明

●意見交換

- ・地域行事で、観覧中にもかかわらずスマホをしている子どもについて⇒学校でも聞く態度として今後も指導をしていく。
- ・去年渋っていた子どもが、今年度学校で明るい表情をみせている。⇒学校は無理強いをせず本人の思いを大切にしている。
- ・読書カードの取組について、カードに感想を書くことを煩わしさや難しさを感じている子どもがいる。家で読書をする時間は増えた。⇒書くことは学校の課題として取組を考えていく。
- ・留守電の設置について⇒時間外であっても留守電に入れてもらえば折り返し連絡する。
- ・YouTube 等は受動的であり、今の子どもは小さいころから見ていて怖さがある。それにくらべ読書は想像力を働かす。漫画も読書のきっかけとなるならいいのでは。
- ・運動会では、提案した新入生旗取りをすぐ取り入れて今年度実施し、子どもも大人も喜んでいた。
- ・宿題の量について⇒学年によって、内容や子どもの状況によって量は変わるが、基礎基本としてコツコツしていかなければならない。

- ・答えを子どもに持ち帰らせるという方法について⇒問題に取り組んだら、すぐに答え合わせをすることが定着につながる。また、難しいときは答えを見て考えてもよい。
- ・学調もみえスタもかなりポイントが高い。先生方の研究授業や日頃の研鑽によって子どもの学ぶ意欲を伸ばしている。
- ・長期欠席 30 日以上はいない。学校の取組と、家庭との連携がうまくいっている。
- ・獣害対策について、例えば地域の方で、ウォーキングをしている方等が見てくれれば安心である。⇒家からふと外に出てもらうだけでもいい。各家庭のできる範囲でできることをしてもらえたらと考えている。
- ・見守りについては、以前 PTA にも声かけをし、自分が立てる日に行動をしてもらったが現在は、継続的には行われていない。
- ・庄内マップの更新は今後行っていく。
- ・ポジティブカードについて、取組回数の平準化とは⇒どこの学年でも毎月 1 回はするという取組にしていきたい。
- ・職員の年休の取得については難しい。業務量が多いことについては、生成 AI を活用したら、負担が軽くなるのでは。

5 アドバイザーより(教育支援課)

本日は、学校関係者評価を切り口に、読書とスマホの関係等、子どもたちの状況を話し合えたことはよかった。子どもにとってスマホの方が魅力があるようだが、本のすばらしさを伝えきれていないのでは。例えば先生のおすすめ本を並べるといった取組をするといい。家庭で保護者はスマホばかりみているのではなく、保護者自身が本を読むといい。親が姿を示していかなければならない。実際貸出冊数はほかの学校よりも多く、庄内の子どもはまだまだ本に興味をもっている。スマホを禁じた国もあるなか、本のよさ、活字の大切さを伝えていくことが大事である。

学校評価は本日の意見とともに、さらに持ち帰ってよさや課題を出してもらうことで、庄内小の今後の取組にいかされる。

※次回日程 令和8年2月 10 日(火) 19:00 庄内小学校図書室